

2018年2月18日

# EM菌効果手応え

## 京町の研究会 排水路で調査

えびの市京町地区の住民でつくる京町温泉EM研究会（永友隆雄会長、73人）は13日、有用微生物群（EM菌）の団子を投入している地区内の排水路で水質調査を行った。会員5人が参加。透明度や水の汚れを示す化学的酸素要求量（COD）などを調べ

た会員らは「今後継続して調べ、変化を見ていきたい」と調査は、川内川河川事務所



排水路の水質調査を行う京町温泉EM研究会のメンバーら

職員2人の協力を得て3カ所の水路でバケツに水をくんで実施。あいにくの雨で水がいつもより濁っていたが、温泉施設付近のCODが水の取り入れ口となる上葉広田橋付近と比べ、若干の改善を示すデータとなるなど会員らは一定の手応えを得た様子だった。

同会は公民館活動の一環で昨年7月に設立。排水路に1万個以上のEM団子を投入するなどして生活環境の向上に取り組みしており、永友会長は「活動でヘドロや害虫が減っている。目に見える効果だけでなく、今回のような調査結果を生かしながら活動を続けていきたい」と話していた。